



# 八千代小だより

学校教育目標「思いやりの心を持ち 共に学び合い高め合う 八千代っ子の育成」

多可町立八千代小学校

学校だより第91号

令和5年6月1日発行

0795-37-0033

## 学校行事が動きだしました

学校長 南畝 大作

平素は本校教育のためにご支援・ご協力を賜りありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが変更され、学校活動も制限がなくなりました。大きな学校行事の1つである5年生の自然学校も、今年から元の4泊5日に戻りました。ただし、これからはすべての行事等をコロナ前と同じ形に戻すのではなく、様々な工夫を加えてよりよい形に変えていくことも必要かと思っております。

さて、5月9日に学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の第1回目の会議を行いました。この会は、地域の方や保護者の方といっしょになり、「地域とともにある学校」をつくっていく仕組みです。そこで、今年度の学校運営の基本方針について承認をいただきました。以下に本年度の取組を要約して掲載いたします。（ホームページ、PTA 総会資料にも掲載しています）

### 本年度の取組（下線部は重点目標）

#### (1) 確かな学力の育成

○基礎基本の定着

○わかる授業づくりの充実

・授業研究を通して、授業の技量向上と確かな子どもの見取りに努める。

・算数科を中心に、授業のスタンダード（授業の基本的な形）を確立する。

（「主体的・対話的で深い学び」の実現、全授業者にスタンダードの浸透）

○読書活動の充実 ・読書週間の実施

○家庭学習の習慣化 ・家庭学習強化週間の実施

#### (2) 豊かな心の育成

○道徳教育・人権教育の充実

・「自分の考えを深める」道徳の授業実践 ・「いのちと人権の日」の取組の充実

○いじめを許さない取組の充実

・「いじめ防止基本方針」に基づく、未然防止、早期発見、早期対応の組織的な取組

・学校生活相談シートの活用 ・こころの健康教育プログラムの取組

・保護者や地域等との連携 ・多可町いじめ防止対策の検証（年間2回）

・全教職員で 共通理解を図り 安全、安心な学校づくりに取り組む。

－「報・連・相」の徹底、一人で抱え込まない－

○温かい人間関係づくりの推進（自己有用感、自己肯定感を高める取組）

○特別支援教育の充実

○体験活動の充実（めあてから振り返りまで計画に沿って実施）

・3年環境体験学習 ・5年自然学校 ・4年福祉学習 ・キャリアパスポートの活用

(3) 健やかな体の育成

- 基本的な生活習慣・生活態度の確立
- 体力づくりの推進
- 健康教育・食育の推進

(4) 安全・安心な学校づくり

- 安全・安心の確保 ・定期的な校内安全点検 ・避難訓練の工夫 ・登下校指導

(5) 地域から信頼される開かれた学校づくり

- 地域に根ざしたふるさと教育の推進
- 小中一貫教育の研究の推進
- 「コミュニティ・スクール」の充実
  - ・学校運営協議会の開催
  - ・地域住民と学校との連携協力体制づくりの推進
  - ・家庭や地域への積極的な情報発信と地域の人材活用

(6) 働きやすい職場環境づくり

- 勤務時間適正化の推進
- 教職員の協働体制の構築
- 心が通い合う職場づくりの推進

これらの取組を推進していくに当たり、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を、これからどうぞよろしくお願いいたします。

## 学校行事から

4月～5月にかけて、たくさんの学校行事を行いました。ふだんの授業と同じくらい学校行事も子どもたちにとって大切な学びの機会です。

### 4月22日（土）参観日・学級懇談会・引き渡し訓練

今年初めての参観日は、人数制限を設けない久しぶりの参観日でした。たくさんの方に来校していただき、また、学級懇談会も行うことができました。朝、放送委員会の放送に、「今日は参観日です。家の人にはほめてもらえるようにがんばりましょう。」とありました。子どもたちははりきっていました。引き渡し訓練は、前年度までと変更し、保護者の方が校舎内を通らずともよい方法で実施しましたが、30分弱で完了することができました。



### 4月28日（金）交通安全教室

毎年、できるだけ早い時期に実施しています。春先は交通事故が多いというデータがあります。低学年は、道路の歩き方とかさのさし方、中高学年は、自転車点検の方法や自転車の乗り方を指導してもらい、実際に運動場を走行しました。年に1度の行事ですが、学んだことを忘れないように声かけをしています。



## 5月2日（火）ささゆり遠足

全校生で行く春の遠足です。6年生が事前に計画を立て、準備をしました。当日は、初めに体育館で1年生を迎える会をして、顔合わせ。それから、チーム毎に集まり、ガルテン八千代まで出発です。



着いてからは児童会役員の進行で○×ゲームを楽しんだり、いっしょにお弁当を食べたりしました。

## 食育の取組から

昨年2月に実施した学校評価では、学校側の反省として、様々な制限があったため食育の推進が図れていないということがありました。そこで、早速、給食センターと連携し、以下の取組を行いました。ぜひ、このことについて家庭でも話題にしていいただければと思います。

3年生と4年生が玉ねぎの皮むきをしました。その玉ねぎは、次の日の給食の食材となりました。むいているとき、涙を流す子もいました。毎日の給食は、給食センターの方を初めとしてたくさんの方の手を経て、給食となります。感謝していただきたいですね。



5年生はバランスのよい食事について考えました。自然学校では、食事はバイキング方式ですので、何を選んで食べるかを考える必要があります。そのために、栄養教諭さんをお招きして、バランスよく食べることの大切さ、主菜や副菜等の選び方を学びました。



1年生は給食センターを見学しました。センターの方々から、どうやって給食を作るのか、何人分作るのか、気をつけているのはどんなことか等々、たくさんお話を聞いたり、見学したりして学びました。給食に込められたセンターの方々の思いに触れることもできました。



八千代小だより 91号返信欄裏面

WEB サイト <https://www.town.taka.lg.jp/yachiyo-el/>  
メールアドレス [yachisyo@edu.takacho.jp](mailto:yachisyo@edu.takacho.jp)

